

エネジンが浜松西署に防犯宣言書提出



西区 エネジンが防犯活動宣言書

浜松市中区のLPGガス販売「エネジン」は28日、地域の子どもや女性、高齢者の犯罪被害防止を目的とした防犯活動宣言書を浜松西署に提出した＝写真＝。

同社の藤田源右衛門社長らが同署を訪れ、検針等での戸別訪問の機会などを活用して、不審者事案の通報や高齢者への詐欺被害防止に向けた啓発活動を実施することなどを誓った。

大村雅之署長は「管内でも高齢者宅を狙ったアポ電が増加している。住民との接点を生かした皆さんの力で、地域の安全をより高めてほしい」と話した。

同署では不審電話による詐欺被害防止のため、留守電機能の利用を推奨している。

感染症の流行でご自宅にいる時間が多い中、不審者事案や詐欺被害が多くなっております。

そこで、ガスの検針や個別訪問の機会を活用して、啓発活動を実施することを浜松西警察署に防犯活動宣言書にて宣言を致しました。

留守電機能を利用して、不審電話による詐欺被害の防止をしましょう。

不審な電話がありましたら、近くの警察署や当社担当者へご相談ください。

令和2年(2020年)4月29日(水)

静岡新聞掲載